

＊ 現代人間学部 | こども教育学科

こども教育学科では、保育・教育の分野でこどもに寄り添い、かつ、先進的な保育・教育のできる人材を養成することを目標としています。具体的には、次のような学生を受け入れます。

[入学者に求める能力]

①自分を育てる力

【期待する能力】 教育や保育に携わる人間として、社会に貢献できるよう関連する知識や技能を習得するのみならず、良好な人間関係を築こうとする。

【選考方法】 面接、自己記入書（志望理由書、自己アピール）、調査書

②知識・理解力

【期待する能力】 入学後の就学に必要な基礎学力としての知識や理解力を有するとともに、多くの学問や人間と関わり、積極的に他者を理解したいと考えている。

【選考方法】 学力試験、調査書、レポート

③言語力

【期待する能力】 学んだ知識や技術を用い、一人ひとりの言語力の相違に気付き、一人ひとりの個性に応じた対応をしようとする。

【選考方法】 面接、自己記入書（志望理由書、自己アピール）、調査書、レポート、資格検定、学力試験

④思考・解決力

【期待する能力】 自分の考えだけでなく、人の考えを聞き、また深く考え、問題があっても解決しようとする力がある。

【選考方法】 面接、自己記入書（志望理由書、自己アピール）、レポート、調査書、学力試験

⑤共生・協働する力

【期待する能力】 学習活動に参加し、共生し協働しながら困難に立ち向かうことで何かを成し遂げようとする。

【選考方法】 面接、自己記入書（志望理由書、自己アピール）、調査書

⑥創造・発信力

【期待する能力】 様々な想像をし、意見を交換することで、更に想像力を発揮し、自分の考えを発信したいと考えている。

【選考方法】 面接、レポート、自己記入書（志望理由書、自己アピール）、調査書

[入学までに求める学習経験]

高校卒業時まで必要とされる基礎的な学力を身につけているとともに、こどもの健全な発達を支援できるように、保育や教育に関するさまざまな問題に興味・関心を持つことが期待されます。また、

自分の考えや意図を相手に分かりやすく伝えたり、相手の意図を適切に理解できるよう、たくさんの人と関わる経験をするとともに、他者と協力しながら課題を見つめたり、問題解決するといった経験をしていることも期待されます。